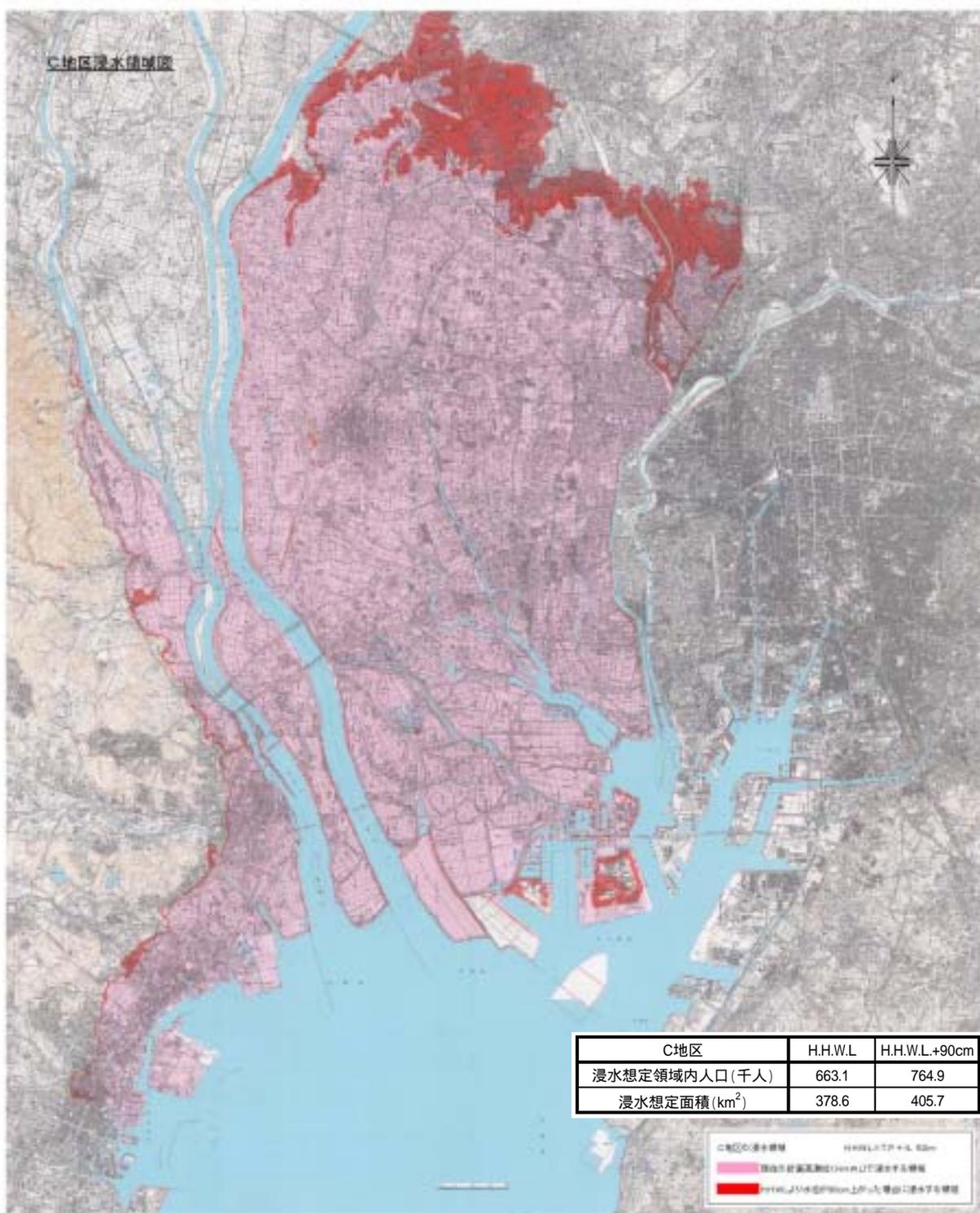


C地区浸水領域図



未整備区域が残されているため、現況潮位（H.H.W.L.）での評価は現況施設で評価したが、水位上昇後（H.H.W.L+90 cm）については、現行計画施設の整備が完了しているものとして評価。

現在の計画高潮位（H.H.W.L）で浸水する場合と H.H.W.L より水位が 90cm 上がった場合に浸水する領域を図示。

C地区影響評価結果

海面上昇による影響評価結果（施設延長及び施設数）

検討対象施設		単位	検討海面上昇値				検討対象	備考	
			+0.1	+0.3	+0.5	+0.9			
浸水想定領域内人口		千人	663.1	670.9	761.4	764.9	-		
浸水想定領域内世帯数		千世帯	204.7	207.1	236.2	237.3	-		
浸水想定被害額		兆円	15.4	15.6	16.7	16.9	-		
海岸	堤防・護岸	k m	0.0	0.9	0.9	4.8	4.8		
河川	堤防	木曾川	k m	5.8	6.6	7.4	8.8	-	
		長良川	k m	6.2	7.4	8.2	13.6	-	
		揖斐川	k m	6.2	7.4	8.4	10.4	-	
	水門等		個所	0	1	1	1	1	
	排水機場		個所	0	0	2	10	11	
	橋 梁		個所	0	1	4	4	9	現状で余裕高不足：3 鉄道橋は除く
港湾	岸壁・物揚場	k m	0.04	0.2	0.2	0.2	0.8		
	護 岸	k m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6		
	防波堤	k m	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3		
下水道	下水処理場	個所	0	0	0	0	1		
	ポンプ場	個所	0	1	1	4	11		
道 路		k m	21.8	21.9	22.3	22.6	31.7		

各数値は累計値

海面上昇による影響評価結果（割合）

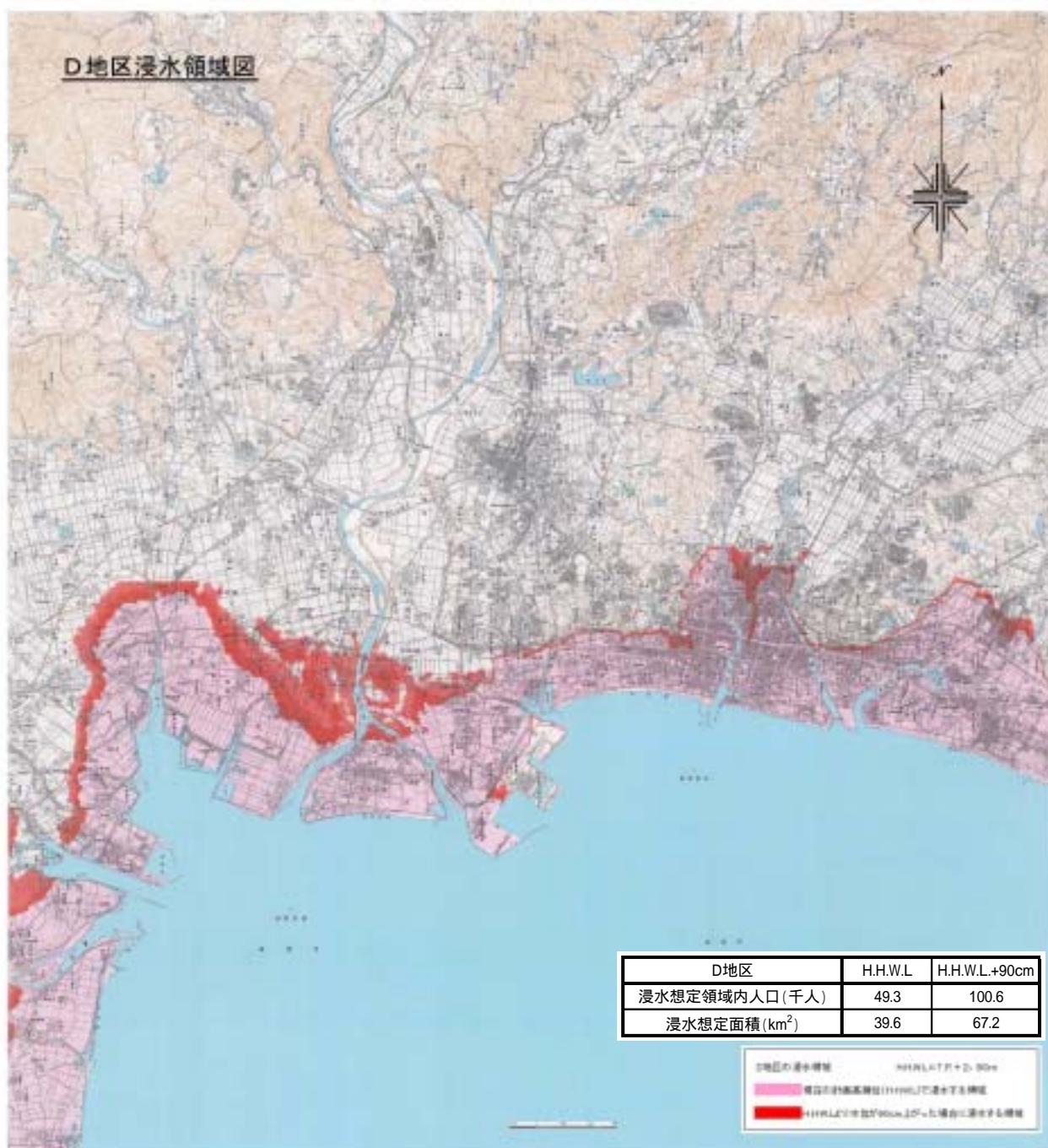
検討対象施設		単位	検討海面上昇値				検討対象	備考
			+0.1	+0.3	+0.5	+0.9		
海岸	堤防・護岸	%	0%	20%	20%	100%	100%	
河川	水門等	%	0%	100%	100%	100%	100%	
	排水機場	%	0%	0%	18%	91%	100%	
	橋 梁	%	0%	11%	44%	44%	100%	現状で余裕高不足：3 鉄道橋は除く
港湾	岸壁・物揚場	%	5%	25%	25%	25%	100%	
	護 岸	%	0%	0%	0%	0%	100%	
	防波堤	%	100%	100%	100%	100%	100%	
下水道	下水処理場	%	0%	0%	0%	0%	100%	
	ポンプ場	%	0%	9%	9%	36%	100%	
道 路		%	69%	69%	70%	71%	100%	

各数値は累計値

被害の特徴

- ・低平地が広がっているため、被害額は大きい。
- ・海岸施設は+0.3mで影響が生じ、+0.9mで全ての海岸施設に影響が生じる。
- ・河川施設では+0.1mから長い区間にわたって影響が生じている。
- ・港湾施設は+0.1mから影響が生じ、+0.5mからはあまり変化しない。
- ・下水道施設は+0.3mおよび+0.9mで影響が増大するが、その割合は小さい。
- ・道路施設は+0.1mで被害ポテンシャルが大きいですが、その後あまり変化しない。

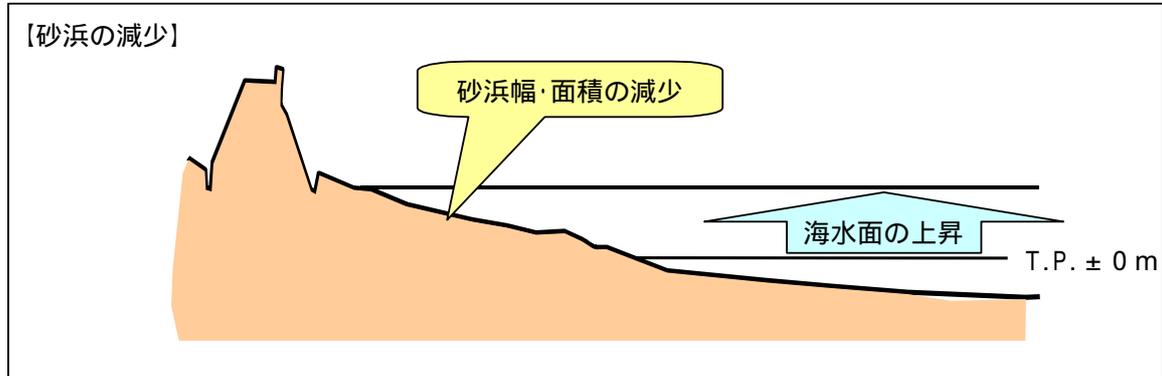
D地区浸水領域図



未整備区域が残されているため、現況潮位（H.H.W.L.）での評価は現況施設で評価したが、水位上昇後（H.H.W.L+90 cm）については、現行計画施設の整備が完了しているものとして評価。

現在の計画高潮位（H.H.W.L）で浸水する場合と H.H.W.L より水位が 90cm 上がった場合に浸水する領域を図示。

海面上昇に伴う砂浜への影響（D地区）



地区	都道府 県名	海岸名	地区名	海岸線延 長(m)	汀線位置変化量 (m)				砂浜面積変化量 (×10 ⁴ m ²)			
					+0.1m	+0.3m	+0.5m	+0.9m	+0.1m	+0.3m	+0.5m	+0.9m
D	三重県	河芸	上野	1,773	-1.1	-3.4	-5.4	-9.2	-0.2	-0.6	-1.0	-1.6
			津	白塚	823	-1.1	-3.4	-5.4	-9.2	-0.1	-0.3	-0.4
		栗真		1,165	-1.1	-3.4	-5.4	-9.2	-0.1	-0.4	-0.6	-1.1
		津 松阪港	河芸地区	1,845	-2.5	-7.5	-12.5	-22.5	-0.5	-1.4	-2.3	-4.2
			松本崎地区	263	-0.8	-2.5	-4.1	-7.5	0.0	-0.1	-0.1	-0.2
			中河原乙部地区	2,695	-0.8	-2.5	-4.1	-7.5	-0.2	-0.7	-1.1	-2.0
		松阪	阿漕藤枝米津地区	4,385	-2.5	-7.5	-12.5	-20.2	-1.1	-3.3	-5.5	-8.9
			香良州	2,350	-0.8	-2.5	-4.1	-7.5	-0.2	-0.6	-1.0	-1.8
			鵜	1,645	-0.8	-2.5	-4.1	-7.5	-0.1	-0.4	-0.7	-1.2
			天白	1,680	-0.8	-2.5	-4.1	-7.5	-0.1	-0.4	-0.7	-1.3
地区合計	18,624						-2.7	-8.1	-13.4	-23.0		

）汀線位置変化量は、測量断面から算出した、現在のT.P. ± 0 mから各検討海面上昇値地点までの距離。負値は陸側へ移動。
 砂浜減少面積 = 海岸線延長 × 汀線位置変化量で算出。

D地区影響評価結果

海面上昇による影響評価結果（施設延長及び施設数）

検討対象施設	単位	検討海面上昇値				検討対象	備考	
		+0.1	+0.3	+0.5	+0.9			
浸水想定領域内人口	千人	56.2	97.6	97.7	100.6	-		
浸水想定領域内世帯数	千世帯	19.6	37.1	37.1	38.2	-		
浸水想定被害額	兆円	1.5	2.6	2.6	2.9	-		
海岸	堤防・護岸	km	0.0	4.6	4.6	4.6	18.6	
河川	堤防	km	1.4	1.6	1.8	2.0	-	
	雲出川	km	1.4	1.6	1.8	2.0	-	
	水門等	個所	0	0	0	0	0	
	排水機場	個所	0	0	0	0	0	
港湾	橋梁	個所	0	0	0	0	0	
	岸壁・物揚場	km	0.1	0.3	0.4	1.1	1.4	
	護岸	km	0.0	0.0	0.2	0.2	9.2	
下水道	防波堤	km	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	下水処理場	個所	0	0	1	1	1	
	ポンプ場	個所	0	0	1	4	4	
道路		km	8.3	8.6	9.3	11.0	12.9	

各数値は累計値

海面上昇による影響評価結果（割合）

検討対象施設	単位	検討海面上昇値				検討対象	備考	
		+0.1	+0.3	+0.5	+0.9			
海岸	堤防・護岸	%	0%	25%	25%	25%	100%	
河川	水門等	%	0%	0%	0%	0%	なし	
	排水機場	%	0%	0%	0%	0%	なし	
	橋梁	%	0%	0%	0%	0%	なし	
港湾	岸壁・物揚場	%	7%	21%	29%	79%	100%	
	護岸	%	0%	0%	2%	2%	100%	
	防波堤	%	100%	100%	100%	100%	100%	
下水道	下水処理場	%	0%	0%	100%	100%	100%	
	ポンプ場	%	0%	0%	25%	100%	100%	
道路		%	64%	66%	72%	85%	100%	

各数値は累計値

被害の特徴

- ・特に+0.3mで津市の市街地が影響を受けるため、被害額が増大する。
- ・海岸施設は+0.3mで影響が生じるが、その後増大しない。
- ・河川施設は+0.1mから影響が生じるが、影響区間は短く、河口付近のみ。
- ・港湾施設は水位の上昇に伴い影響が増大する。
- ・下水道施設は全て海域に放流しているため、+0.9mで全ての下水道施設に影響が生じる。
- ・道路施設は+0.1mで被害ポテンシャルが大きく、その後水位の上昇に伴って増大する。